長久手市行政評価票(A票:事業評価票)

事業番号		53	_	事業	美名	健診事業					担当部課	福祉	上部 化	呆険医療課	
基本情報			基本方針	3 人がいきいきとつながるまち											
	総合	計画	分野別項目	12	生活習慣病を予防する保健サービスを充実する										
			施策の進め方	1	1 健診・保健指導の充実										
	まちづくり		フラッグ												
		行程表 政策分類													
			(どのような事業	またのか)											
事業目的等	事業内容		身体測定、尿検査などの健康診査を市内医療機関にて実施。												
			対体例に、が検査などの健康診査を用的医療機関にく失地。 (誰、何を対象にしているか)												
	事業対象後期高齢者医療制度被保険者および、当該年度中に被保険者となる者														
	事業	意図	(対象をどのような状態にしたいか) 生活習慣病を早期に発見し、早期に治療することにより、市民の健康を増進し、医療費の削減につなけ										ぎる。		
	事業を構成する	雀 を	① 健診事業				改善∙	改善・見直し ②							
		する	2							⑤					
	事務	争耒	3							6					
			话日			出丛	ᄝ	4	245	手度	25年度	26年度	27年	中	1
コュ	項目 事業費(A)					単位区		算	241	干	25年度	20年度		- 皮 18524	1
スト						千円		決算		$\overline{}$			18	3,332	
推 移			人件費(B)		千円			決算		_				2,444	
			総コスト(A)+(E	3)		千円		決算					20	0,776	
			成果指標		単位		区			丰度	25年度	26年度	27年	度	28年度
	A 健診受診			:率	%		目室			04 94	38.85 37.21	39.66 42.39	45.9 45.1		
	В							目標 実績		0 1	07.21	12.00	10.	, ,	
成 果	C						目	標							
深 推 移)説明】	(指標の設定根拠	1.数值目	標の設	定根拠など)	実	傾							
13	Α	H23∼I	H26の伸び率を	平均した	c率をH	127伸び率とし	、H26写	実績に	H27伸7	び率を	かけて算出				
	В														
	С														
τ =				(他市町	における	る同様の取組で	の特徴	的な点	、制度の)変更	ニーズの変化	. 技術の変化だ	ر کے <u>،</u>		
環 境 変	他市田	けでのI	取組状況や事	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)											
変 化	業を	を取り巻	く環境変化	愛知県内の市町村で実施 											
= 517	日福泽代代石			(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など)											
				目標はほぼ達成しており、愛知県内での受診率は比較的高い水準にある。											
評 価				(構成して	ている事	務事業それぞ	れの評値	西を踏ま	え、全	体的な	課題を整理)				
	事務事業全体を 見た課題			受診案内を送付している対象が、新たに被保険者となる住民であるため、制度が必ずしも対象者全員に周知されている訳ではない。											

(事業の成果を高めるための事務事業の方向性)

今後の方向性

さらなる受診率の向上のため、送付する受診案内の内容の充実と、制度理解のための啓発方法を模索する。

長久手市行政評価票 (B票:事務事業評価票)

事業名 健診事業

番号 1 事務事業名

健診事業

1. 事務事業の目的

対象 ・ 手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 当該年度中に被保険者となる者に対し受診案内を送付する
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 受診率の向上に結びつける。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
事業費	土田	予算	\setminus	\setminus		18, 524
于 木貝	1 1 1	決算				18, 332

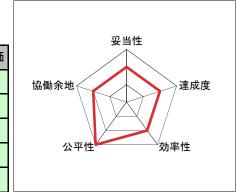
3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
受診案内の送付	通	目標	400	400	400	400	
又的未内仍应问		実績	325	274	312	358	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化 (制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価				
妥当性	2				
達成度	2				
効率性	2				
公平性	3				
協働余地	2				



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】 (改善の方法、今後の具体的展開など)

受診案内以外の制度周知の方法を模索する。